



TITLE:

摘録

AUTHOR(S):

CITATION:

摘録. 地球 1931, 16(3): 227-228

ISSUE DATE:

1931-09-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183944>

RIGHT:

用意し、牡牛と驢馬とを牽き來つて人々を集めその佳日を祝つた。彼が聖槽(Presenjo)の前に敬虔なる歡喜の相を表して跪いてゐる時、槽中の幼兒はフランシスに抱かれて兩眼をぱちりと開くのを見たと言ふこの聖槽の造り物はグレチヨ(Greccio)で聖者が初めて行つたのであるが、伊太利では諸處で行はれ、フランシスカン派の教徒中には特に聖者のこの行に模してよく行はれる風習がある。(續く)

摘 録

○第三紀に於ける太平洋に關する知識の最近の進歩とウエゲネルの假定

(Les recents progrès de nos connaissances sur l'histoire du Pacifique aux temps tertiaires et la theorie de W.egenér note de M. L. Joleaud : Comptes Rendus Tome 192. No 10. 1931)

最近の多くの觀察の結果太平洋中央の諸島(マーシャル・フィジー・トンガ・クック)より始新世漸新世及び中新世の有孔蟲 Nummulites, Pellatispira, Operculina, Orthophr-

emina, Spiroclypeus, Lepidocyclus, Miegopsina の存在が分つた。尙ほ太平洋西部の諸島(小笠原・ビスマーク・ニュート・ブライズ・ニューカレドニア・ニュージラント)の同時代の地層からは古くより前掲諸屬に屬する有孔蟲が發見されて居た。

近年 Lepidocyclus に就いて H. Douville, W. Van der Vlerk, J. A. Cushman が細密に研究した結果、Polyepidina 及び Pileopidina の分布が印度太平洋地方及びアンチル諸島のみでない事が判つた。Polyepidina proxiformis はメキシコとクック諸島より産し、Pileopidina は一方ではトリニダッド、パナマ及びメキシコに産すると共に又ボルネオ及びスマトラからも産する。Amphilepidina 亞屬の中でマダガスカル、日本南部、マレー群島、ニューギニアに産する L. sumatrensis はニューヘブライズ及びフィジーからも知られてゐる。然るに本種はアンチル諸島(キニバ、ハイチ)では近縁種に依つて代表されて居る Douville は Amphilepidina の内でキニバ産のものを含む星形型のもの一部をマダガスカル、マレー、オーストラリア、ニューヘブライズ、フィジーより記載されて居る L. radiata 及び L. martinii と一緒にして分類した。最後に Eulepidina の内 L. formosa はマダガスカル、マレー、ニューギニア、及びニューヘブライズ、フィジー、クック群、トリニダッド、パナマ、メキシコから發見された。

ヨーロッパ及びアフリカの北部に全く缺けてゐて、反對にマレー、メラネシア、メキシコ、パナマ、アンチル並にポリネシアから發見されて居る *Lepidocyclus* の亞屬 *Polylepidina* 及び *Pileopidina* *Amphilepidina* の星形型の一群 *L. sumatrensis*, *L. formosa* はニューギニアと中央アメリカの間に沿岸海に依る交通が存在した事を確證するとしてよい。此の連結はビスマルク、マーシャル、ニューヘブライズ、フイージー、クツクの諸群島に依つて爲された。環太平洋地域のテチス海は地球をめぐるアンチル、地中海及び印度のテチス海と連續して居た事を保證されてゐた。大形有孔蟲のメラネシアと中央アメリカとの間に行はれた移住が、南方又は北方の環太平洋地域を経て行はれたのではない事は確である。*P. Marshall* は *Lepidocyclus*, *Mioegypsin* の南限がニューギランドの北島に在つて、此等の發達に都合のよい氣候的條件には緯度の限度が存在すると述べ、矢部も日本に就いて同様の事實を記してゐる。*Lepidocyclus* はカリフォルニアには産せず又ペルーの南にも亦知られてゐない。

第三紀の太平洋には環礁を持つた群島が新大陸に可成近い地域に到る迄存在してゐた。現在太平洋中のポリネシアとアメリカの間に珊瑚礁が無い事はカリフォルニア、フンボルトの二寒流の影響が存在して居る爲めの如く考へられて居る。併しペルーに *Lepidocyclus* が産する事及びカリフォルニアに *Orthophragmina* が存在する事は第三紀に於ては此

等の寒流の影響が現在程に擴つて居なかつた事を證明して居る。

最後に第三紀古期及び中新世に太平洋を横切つて熱帶沿岸海の交通が容易であつたと云ふ事は島嶼の無い廣大な太平洋の存在と相容れず、従つてウエゲネルの假定に矛盾する。(竹山)

新著紹介

○地層學

理學博士 今井半次郎著 菊判本文五四五頁

昭和六年六月 古今書院發行 定價四圓貳拾錢

近來本邦に於ても地質學及び其の關係科學は益々隆盛に向ひ、斯學に關する良書が續出して、斯學が著しく普及しつゝあることはまことに欣快に堪へない所であるが、地層に就て詳述したまとまつた書物が我國には遺憾乍ら今まで出なかつた尤も世界一般、地層即ち沈積岩に關する研究は廣義の地質學の他の分科に比して遙に立ち遅れた状態にあるので、歐米先進國にも好著はあまり多くはなかつたのだが、我國では皆無であつた。本書は此の缺陷を補はんが爲めに生れたものである。著者今井博士は人も知る矢部教授門下の俊才であつて、三菱技師として、石狩炭田を始め北海道、樺太の第三系に關して多年に亘つて、細密、徹底的な研鑽を積まれて居る方であるから、本書の著者として最適任者と云はねばならない。本書は主としてグレイボーの「層序學原論」に範をとり著者の豊富